

ようじえんだより 2021年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

9月主題『心かよわせて』

主題聖句：私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書13章34節

- ☆ 0歳児：神さまが創られた自然を感じる（空の雲・風など）。興味の幅が広がり活発に動く。繰り返しいろいろなことを試してみる。
- ☆ 1～2歳児：さんびかや聖書のお話に触れ、楽しむ。保育者や友だちとのやり取りを楽しみながら、のびのびと過ごす。やりたいことを存分に楽しむ。（保育者は）それぞれの育ちを見つめ直し、今後の成長過程を予想しつつ個々に必要なかわりをしていく。
- ☆ 3歳児：遊びの中や礼拝の中で、神さまが創られたいのちのおもしろさやすばらしさを心にとめる。好きな遊びを気の合う友だちと一緒にすることが楽しくなり、交わり（かわり）を喜ぶ。（保育者は）友だちとのかわりが深まりやり取りをする中で、喜びあったりぶつかったりと、思いを伝えあう経験ができるように支える。
- ☆ 4～5歳児：聖書の中の神さまの物語（ことば）を共に聴く。友だちと時と場を共有して遊び、楽しさにも難しさにも心をかよわせて過ごす。（保育者は）一人ひとりの遊びや友だちとの関係をよく見て、子どもの気持ちを理解しながら支える。

Q. 歩き始めるのも、言葉をしゃべるのも遅い子でした。今はオムツがはずれないことと偏食（野菜嫌い）が心配です。（2歳 J子ママ）

A. 子どもに「～させる」ではなく、子どもが「～したい」という意欲が育つように

J子ママさんの心配は、実は多くの親が大なり小なり抱えています。順調に成長しているか調べる1歳半検診や3歳児検診などで胸が張り裂けそうなほどの緊張を強いられる親御さんがとても多く、子育てがしにくいと言われるこの国の現状であると思わされます。

そもそも兄弟で同じ環境で同じようなものを食べていても性格や成長の仕方は全く違うことはよくあることです。もちろん何らかの医療的

ケアが必要なケースはありますが、その判断はお子さんが3歳以上児になってからで十分です。むしろトイレトレーニングなどは一人ひとりオムツが取れる時期があり、それは他者が急かして訓練させるものではありません。焦ってすることで、様々な心的トラウマを抱えることがあるので、トイレトレーニングは焦らないことが肝要です。また偏食に関しても、いろんな食べ物で栄養はとれる時代ですから、おおらかに食卓が楽しい場であることと、「食べてみようか」という促しがあれば十分だと思います。むしろ大切なことは子どもに何かさせることよりも、子ども自身が意欲を持って何かをしようとする力です。これこそが生きる力の源になるものです。 園長：久保田愛策

年間主題『共に喜んで～すべての歩みの中～』

主題聖句：一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、

一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

新約聖書 コリントの信徒への手紙I 12章26節